

④4awaもくよんプロジェクト(県営住宅新浜町団地建替事業)

受賞機関 徳島県

キーワード 県営住宅団地建替、準耐火構造のあらわし木造4階建て、設計競技、中高層建築物の木造化

全建賞審査委員会の評価ポイント

木造4階建ての県営住宅団地建替事業。建築基準法改正による新たな設計法を活用し、柱や梁などの主要な構造部分を耐火被覆することなく、国産材等を用いた木の質感が感じられる、あらわし仕上げとした木造4階建ての公営住宅は全国初であり、全国の先駆けとなる先進的な木造建築モデルとして、新しい建設技術の導入・普及に寄与している点が評価された。

1. はじめに

本プロジェクトは、県営住宅「新浜町団地」の建替事業に際し、カーボンニュートラルに資する「先進的な木造建築モデル」として、令和元年施行の改正建築基準法により可能となった「準耐火構造のあらわし木造4階建て」を、全国に先駆けて実現するものである。新たな住棟については、令和2年度から設計に着手し、令和4年3月に着工、令和5年2月に竣工した。

2. 事業の概要

「新浜町団地」は、平成15年度から順次建替えを進めており、本プロジェクトは、最後に残った旧3棟72戸を、計画時点の入居戸数に対応した新1棟27戸に集約化するものである。

建築業界の活性化にも資するよう、設計者については、県内・県外事務所による「設計競技」を行い、応募42作品の中から、外部委員会の審査を通じて最優秀作品を選定した。

当該作品に基づく実施設計では、メインフレームとなる柱、梁に、燃えしろ65mm(片面)を見込んだ330mm角の集成材を用い、耐力壁には構造用合板のほか、開放性を要する箇所には、大断面の筋かい(150mm×240mm



木造軸組

のヒノキ製材)を用いている。また、間柱や小梁、内装材等には、徳島県産のスギをふんだんに用いている。

3. 事業の成果

本プロジェクトは、中高層建築物の木造化に当たり、特殊な技術を前提とするのではなく、建築基準法告示に示された「一般解」を用いている点で、建築物の木造化・木質化を検討している公共団体や民間事業者等に向けて、汎用的なモデルを提示できたものと考えている。

また、建替えに際して、高齢の単身・夫婦世帯の増加等に対応し、面積が小さめの住戸の整備や、バリアフリー性能の確保など、「住宅セーフティネット」の中核を担う「公営住宅等ストック」の充実を通じて、県民の安全・安心に寄与するものとなっている。



完成外観

4. おわりに

近年、「木材利用」への関心は高まっているものの、例えば、省エネルギー対策については更なる規制強化まで検討されているのに比べて、木材利用については、国民一人ひとりの意識に拠るところが大きい。その意味で、公共部門において「モデル的な取組」を進めることは重要であるし、特徴的な事例が増えていくことで、技術革新や市場の成長にもつながると考えている。今後も、全国的に「木造化・木質化」の機運が一層高まっていくことを期待したい。